

20分で出来るアレルギー検査

スギ花粉のピークを過ぎたのにまだ目がかゆい、くしゃみや鼻がムズムズなどの症状が。。。
アレルギー(アレルギーを起こす原因物質)は、人によって様々です。
1人が複数のアレルギーを持っていることもあります。原因を知ることがアレルギー治療の第一歩で、アレルギー性疾患の治療は、原因アレルギーを正確に特定することが重要です。

この検査は、スギ花粉・ダニ・イヌやネコのふけなど 皆さんが吸い込んでしまう可能性があるアレルギーに反応する「IgE」という抗体が体の中にあるかどうかを調べるためのものです。
検査により症状を悪化させている原因を特定し、これにより注意しなければならない季節や対策方法などがわかり生活への負担も軽減され、投薬と併せてより高い治療効果が期待できます。

測定できるアレルギーは？

ハウスダスト系の①ダニ②ゴキブリ③ネコ④イヌ
花粉系の⑤スギ⑥カモガヤ⑦ブタクサ⑧ヨモギの 計8種類です。

検査の流れ

- (1)指先から採血を行います。
- (2)結果が出るまで約20分お待ちください。
- (3)一緒に結果を確認し、治療方針を決定します。

とってもカンタン!



指先から採血を行います。



8項目のアレルギーチェックができます



スギ(ヒノキ)に陽性を示すピンクの発色

《この検査に適している方は?》

- その日の受診で結果を知りたい方
- 忙しくて再診が難しい方
- 注射が苦手な方
- 就学前のお子様
- 今まで一度もアレルギー検査を受けたことのない方
- 自分が何のアレルギーであるかを知りたい方

検査を希望される方は院長・スタッフまでご相談ください。



院長ごあいさつ

院長 梶川大介



年始に今年度の“チーム梶川”に関する目標を掲げ、現在も自問自答しながらやっているところです。実はそれ以外にプライベートの目標として「英語力アップ」を掲げています(苦笑)。ずっと以前から「英語が上手く話せたら」という思いがありました。たまに行く海外旅行先で「もっと英語が話せたら」と思うことが頻りにあり、我が家ではホームステイの受け入れも行っていましたが、なかなか自分の思いや考えを相手に伝えることが出来なくて悶々としています。海外留学経験のある娘がペラペラと楽しそうに話しているのを見るにつけ本当に羨ましい限り。ってことで、今は通勤途中の自動車の中で一生懸命に英会話のCDを聴いたり、ボソボソ呟いています(笑)。最初は「はぁ～?!」という感じでさっぱり解りませんでしたが、何度も聴いていると少しずつ耳が慣れて来ました。



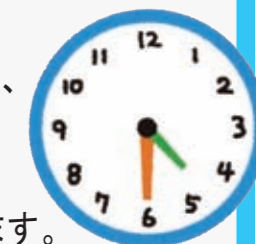
先日、外国人の患者さんが来院され、日本語を少し話されましたがもうドキドキモード。画面に映し出された目の状態や点眼方法を私の片言の英語で説明(汗)。英語で病状説明を行い、患者さんにご理解、納得して頂くには本当に難しいです。英語が苦手な私ですが、近々無謀にもTOEIC(トイック：コミュニケーション英語能力を測る世界共通のテスト)を受けるつもりです。まず今の自分の英語のレベルを知りたいのと将来的に国際交流が出来る英語力をつけたいという思いがあります。1回目で990点満点中300点取れるかなあ?! 目標は700点!! 目標は高い方が良いでしょう。55歳オッサンの挑戦、すでに始まっています。

混雑と臨時休診のお知らせ

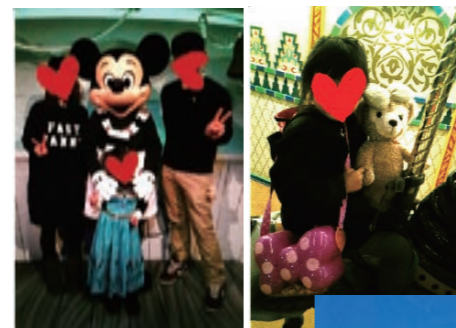
【混雑情報】4月～6月上旬までは、学校検診の時期にあたり視力検査の件数が増え、午後4時30分以降の午後診と土曜日が混雑することが多いです。

【休診】5月2日(土)は、院長の都合により休診と致します。

患者様には、大変ご迷惑をお掛け致しますが、ご了承のほど宜しくお願い申し上げます。



コラム数珠つなぎ



今回は、診療助手・福澤がお届けします!

私には5歳の娘がいます。娘は『アナと雪の女王』が大好き!! そんな娘を喜ばせてあげたくてサプライズ家族旅行を計画! 新幹線に乗るのも初めてで、ドキドキしながらついたのがディズニーランドで、大喜び!! この日の為に買っていただいたエルサのドレスを着てはしゃぐ娘。念願のアナと雪の女王のパレードも近くで観ることが出来て、熱唱していました♪ディズニーシーに行くまでは出会うこともなかったシェリーメイにも出会いました。大きなシェリーメイの縫いぐるみは今では宝物になっています。初めてのディズニーでいっぱいはいしゃいだ今回の旅行。最後に『連れてきてくれてありがとう。』と満面の笑顔。これからもたくさんの笑顔を作ってあげたいと思いました。



間人の"幻"の蟹

院長・梶川大介



2月15日(日)、某会員家族旅行に行ってきたあ〜。

行き先は、京都府丹後半島にある「炭平」という料理旅館で、「幻」の蟹を食する日帰りツアー。

観光は、一切なし。天橋立を車窓から眺めただけ(笑)。

「間人」と書いて「たいざ」と読みます。普通、読めないです(苦笑)。

間人蟹の"幻"たる由縁は、職人氣質である漁師が厳しくチェック、漁を許可されているのがたった5艘の船だけ、1年の中で決まった時期しか食べられない、なので希少価値があります。「間人蟹の名にふさわしい」と認められた蟹だけに許される緑色のタグ。良く見ると船の名前が刻印されています。

こんなん見たことあります?!蟹ブランドの証しです!!

蟹の刺身、茹で蟹、蟹のしゃぶしゃぶ、蟹炭火焼、甲羅酒、蟹ちり鍋、雑炊のフルコースでまさに蟹三昧。蟹味噌の中にあっつぱい心臓なんて初めて食べました。どれもめっちゃ美味しかったです。

また、「炭平」には、9年前に初めて訪れたことがあります。その当時、民宿のような感じだった建物が綺麗にリニューアルされ、この度何よりも驚かされたのが、ホームページに掲載されていたこのお店の「理念」。半端なく凄いです。どんな方が、どんな思いでこれを考えられたのか無性に知りたくなりました。食事が一段落した時点でフロントに赴き、ご主人か女将さんに会いたい旨を告げ待つこと数分。笑顔がとても素敵なオーナーが出て来られ、理念を掲げるようになった経緯などを丁寧に教えて下さいました。現オーナーが、「社会から求められるような料理旅館になるためにどうするか?」を考えた末、理念などを突き詰めるようになったそうです。

創業者、女将、地域住民の思いを文字にするのに1年間を費やしたとか。

その思いがとにかく熱い。

創業の精神として「お客様のことを一心に考え尽くす」

理念「ひとづくり 故郷づくり」

ミッション「小規模旅館の運営プロフェッショナルになる」

目の前にいる「お客様ひとり」「職場仲間ひとり」に尽くすことこそわたしたちの真の価値創造である。旅館業を通してお客様・職場の仲間・地域社会への貢献や幸せを考えたこの理念経営に脱帽しっぱなし。今回は本当に短い時間だったので、もし機会があれば、オーナーとお酒でも交わしながらもっとじっくりとお話が聴きたいですね〜。異業種の方とお話するのは、ワクワクして本当に楽しいです。



人生に悩んだら「日本史に聞こう」



白駒妃登美さんの講演会に参加して来ましたあ〜

白駒さんは、『博多の歴女』として歴史講座を展開しておられます。今回も歴史上の人物やアスリートの生き様、The日本人の誇りをいっぱいのエピソードを交えて熱く語って下さいました。導入のお話しは、仕事観について。誰かに喜びを提供できるのが仕事。相手を笑顔にするのが仕事。仕事は、はたの人を楽にする笑顔にするもの。仕事は、自分の時間を誰かの喜びに変えるもの。なるほど、素晴らしい!!



自分で自分の《道》を見つけるというお話も素敵でした。《道》とは、生き方のこと。例えば、生前、浅田真央ちゃんのお母さんは、「フィギュアスケートは、単に勝ち負けの競技ではない。大切なのは、氷の上でいかにその人の生きざまを見せられるか。」と言っていたそうです。ソチ五輪ではメダルには届かなかったものの、世界中が真央ちゃんのフリー演技に感動。前日、失敗したトリプルアクセルに迷うことなく挑戦し見事成功させ、真央ちゃんの生きざまそのものの渾身の滑りでした。自分の置かれた場で、自分の生き方を磨いていくのが日本人。

織田信長・豊臣秀吉・真田幸村ら名立たる武将は、一人ひとりを大切に、気配りをし、皆から応援される生き様を貫き、皆から応援される存在だったから登り詰めることが出来たというエピソードもとても面白かったです。

親日国である台湾の心を感じる素敵なエピソードが幾つか紹介されました。特にレスキュー隊員の話に感涙。1999年、台湾で起きた大きな地震。日本以外の国のレスキュー隊は、生命探知機が反応しなければ素通りでした。ところが、日本のレスキュー隊だけは、たとえ生命探知機の針が振れなくても台湾の方々の思いに寄り添い、瓦礫を丁寧に取り除き、隊員全員で整列してご遺体に黙祷を捧げたそうです。その姿に台湾の人たちは、胸を打たれました。2011年、東日本大震災が起こった際、台湾からも多くのレスキュー隊が駆けつけ、ご遺体に対して同じようにして下さいました。「あなたたち日本人が教えてくれたこと」

台湾では、「日本精神があるねえ〜」という最高の褒め言葉があるそうです。

“日本精神”とは、誠実・勤勉・正直・約束を守る・優しい・責任感・利他の心などのこと。昨今、痛ましいニュースが多い日本ですが、日本精神はどこに。。。日本の歴史というのは、「報恩感謝」の歴史。恩に報いるというのは、頂いたことへの恩返しと、そしてそれ以外へ恩を送っていくこと、次の世代に恩を送っていくこと。

今回の講演で日本人としての誇りを再確認し、「目の前の環境を受け入れ、感謝し、全力を尽くす」ことの大切さを学び、気付かされました。購入した新刊本にサインをもらい、握手までしてもらってウキウキ〜(笑顔)。いっぱいの元気を頂き、感謝、感謝です。

